

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

令和２年度 定時社員総会

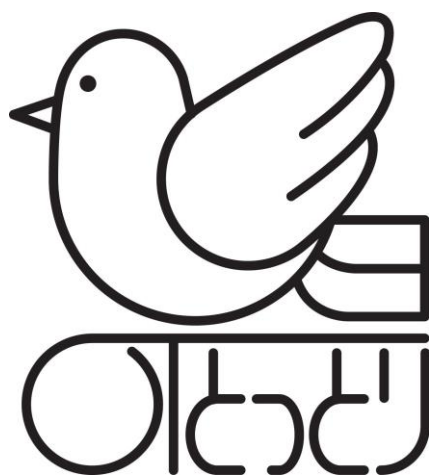
議 案 書

期日：令和２年６月２０日（土） １０：００～１１：００

会場：YMCA米子医療福祉専門学校

鳥取県米子市錦海町３－３－２

TEL ０８０－２９３０－５０１０



一般社団法人 鳥取県作業療法士会

事務局

〒６８３－０８２５ 鳥取県米子市錦海町３－３－２
YMCA米子医療福祉専門学校内
TEL ０８０－２９３０－５０１０
MAIL jimu@tottori-ot.or.jp

※ P26以降、報告事項「令和２年度事業計画及び予算」については、４月時点での計画です。
今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、各事業が中止・延期になることが想定されますので
ご了承ください。

総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議 長 選 出
3. 会 長 挨 拶
4. 定 足 数 報 告
5. 書 記 任 命
6. 決 議 事 項
 - 第 1 号議案 令和元年度事業報告書承認の件
 - 第 2 号議案 令和元年度決算報告書承認及び監査報告の件
 - 第 3 号議案 その他
7. 報 告 事 項
 - 令和 2 年度 事業計画及び予算
8. そ の 他
9. 議長、書記解任
10. 閉会のことば

目 次

総 会 次 第	・ ・ ・ ・ ・	1
決 議 事 項	第 1 号議案 令和元年度事業報告書承認の件	2
	事務局	2
	渉外部	2
	広報部	3
	事業部	4
	学術部	6
	教育部	7
	生活行為向上マネジメント委員会	9
	領域対策部	9
	財務部	10
	規約委員会	10
	倫理委員会	10
	総会議事運営委員会	10
	選挙管理委員会	11
	地域包括ケアシステム対策委員会	11
	認知症対策委員会	13
	その他	14
	第 2 号議案 令和元年度決算報告書承認及び監査報告の件	15
	財産目録	16
	貸借対照表	16
	令和元年度決算書	17
	正味財産増減計算書	24
	監査報告書	25
	第 3 号議案 その他	25
報 告 事 項	令和 2 年度事業計画及び予算	
	事務局	26
	渉外部	26
	広報部	26
	事業部	27
	学術部	27
	教育部	28
	生活行為向上マネジメント委員会	29
	領域対策部	29
	財務部	29
	規約委員会	30
	倫理委員会	30
	総会議事運営委員会	30
	選挙管理委員会	30
	地域包括ケアシステム対策委員会	30
	認知症対策委員会	31
	令和 2 年度予算書	32
県士会組織図	県士会組織図	36

第1号議案 令和元年度 事業報告書承認の件

令和元年度 事業報告

◎ 事務局

1. 会議の開催

会 議 名		期 日	会 場
定時社員総会		令和元年 5月19日(日)	アゼリアホール
理事会	第1回	平成31年4月20日(土)	養和病院
	第2回	令和元年 7月 6日(土)	まなびタウンとうはく
	第3回	令和元年 9月28日(土)	まなびタウンとうはく
	第4回	令和元年11月10日(日)	老健セラトピア
	第5回	令和2年 1月18日(土)	まなびタウンとうはく
	第6回	令和2年 3月15日(日)	まなびタウンとうはく

2. 会員管理

(1) 入退会状況(令和2年3月31日現在)

会 員 数					異 動 届			
正会員	自宅	休会	入会	退会	勤務先変更	転出	転入	アドレス変更
540名	15名	7名	41名	18名	32件	7件	3件	24件

(2) 会員情報確認(年1回)

11月に各地区所属会員情報確認および連絡窓口担当者確認を実施

3. 文書管理

(1) 文書受取・保管(令和2年3月31日現在)

総数	会員	OT協会	他士会	鳥取県	鳥取県社協	その他
243件	13件	11件	87件	12件	26件	94件

4. 作業療法士に関する全国組織との連携

(1) 日本作業療法士協会

① 日本作業療法士協会 2019年度定時社員総会

令和元年5月25日(土) 東京 鳥取県代議員 田住 秀之

② 47都道府県委員会(年3回)

第1回 令和元年4月13日(土)・14日(日) 東京/会長 段 敬史

第2回 令和元年7月27日(土)・28日(日) 東京/会長 段 敬史、副会長 永見 忠志

第3回 令和2年2月1日(土)・2日(日) 東京/会長 段 敬史、副会長 永見 忠志

③ 2019年度代議員選挙

鳥取県士会定数3に対し、期日までの立候補者なし

県士会より副会長 永見 忠志、副会長 土井 宣幸、財務部長 梅津 清司郎 3名を推薦

④ 日本作業療法士会からのアンケート回答8件

⑤ 台風15号及び19号等の一連の豪雨や暴風に関わる災害で被災された方々を支援するための支援金 OT協会が募集、鳥取県士会として10,000円の支援金を送金

5. その他

(1) 法人の管理運営

① 事務局の変更

5月の役員改選に伴い事務局本部及び支局変更

事務局本部：旧) 養和病院 → 新) YMCA 米子医療福祉専門学校作業療法士科

TEL：080-2930-5010(事務局直通)、E-Mail：jimu@tottori-ot.or.jp

西部事務局：旧) 米子東病院 → 新) 養和病院

◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること

(1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整

①令和元年度介護専門職研修事業 研修企画会議出席

令和元年10月18日（金）、令和2年3月5日（木） 中島 直（尾崎病院）

②介護専門職研修講師調整

「高齢者と楽しむレクリエーション」

令和元年11月26日（火）於：アゼリアホール 郷原 達之（老健うつぶき）

令和2年1月15日（水）於：米子文化会館 加藤 淳美（サンライズ名）

令和2年2月7日（金）於：県立福祉人材研修センター 坂本 一郎（さとに田園クリニック）

(2) 特別支援教育への協力

①会員、学校との連絡調整、実施集計など

i 灘手小学校 4回、西郷小学校 2回、倉吉養護学校 7回、鳥取養護学校 10回

来間 寿史（株式会社つむぎ）

ii 福生東小学校 令和元年10月10日（木）、11月17日（日） 門脇 達也（養和病院）

iii 明星小学校 令和2年1月19日（日） 荒子 恵理（鳥取療育園）

②県、市町村教育委員会との協力連携調整

県教育委員会訪問 令和2年2月17日（月） 谷口 弘（中部療育園）

(3) 鳥取県国民医療推進協議会総会 令和元年12月26日（木） 坂本 一郎（さとに田園クリニック）

(4) YMCA 米子医療福祉専門学校 入学式 平成31年4月2日（火） 段 敬史（サンライズ名和）

卒業式 令和2年3月5日（木） 不参加

(5) 若草学園協力

令和2年1月27日（月） 金平 桜（尾崎病院）

令和2年2月12日（水）、21日（金） 荒子 恵理（鳥取療育園）

(6) 学童保育鳥取県連絡協議会との連携協力

話し合い 11月30日（土） 荒子 恵理（鳥取療育園）、谷口 弘（中部療育園）

(7) 外部協力調査 2月実施

(8) 鳥取県障がい者スポーツ協会との連携 PRの場を設けるとの方向を共有する

◎ 広報部

1. 土会ニュース発行（年4回）

発行号数	担当施設名
103号（6月号）	野島病院
104号（8月号）	皆生温泉病院
105号（11月号）	鳥取大学医学部附属病院
106号（2月号）	ウェルフェア北園渡辺病院

2. 広報資料取り寄せ（日本作業療法士協会より）

ポスター	200部
------	------

3. 学校への啓発・広報活動

(1) 資料配布

①高校への配布

配布先	実施期間	配付内容
各高校	7月	施設見学案内、ポスターなど

②委員会・小学校・中学校・特別支援学校への配布（特別支援教育関係）

配布先	配布数	配付内容
教育委員会	24通	パンフレット
小学校	121通	
中学校	57通	
特別支援学校	11通	
義務教育学校	5通（学校数は3）	
合計	218通	

(2) 施設見学（東部、中部、西部の各地区の承諾施設での実施）7～8月

	実施日	人数	受け入れ施設
--	-----	----	--------

東部	7月31日	5名	渡辺病院
中部	8月5日	3名	藤井政雄記念病院
西部	8月7日、8日	7名	鳥取大学医学部附属病院
合計		15名	

4. 作業療法推進月間（8月）

(1) ポスターの配布

県内の OT 在籍施設、市町村役場、OT が不在の病院・老健施設

5. ホームページ管理・更新：

- (1) 会員へのお知らせ：3月31日をもって旧ホームページは閉鎖し新ホームページに移行しています
以下のアドレスを参照してください

旧アドレス：<http://tottori-ot.jp>→新アドレス：<http://tottori-ot.or.jp>

6. 会議の開催

(1) 広報部会

第1回 令和元年5月19日

第2回 令和2年1月12日

(2) 鳥取県作業療法士会新ホームページ準備委員会

第1回 令和2年2月4日

第2回 令和2年2月12日

第3回 令和2年2月19日

第4回 令和2年2月26日

第5回 令和2年3月25日

7. 日本作業療法士協会との連携

Web 会議：実務なし

8. データ管理委員会

- (1) 郵送に関するデータの管理・更新

- (2) 円滑な郵送方法の情報提供

9. その他

◎ 事業部

1. 訪問地域リーダー会議

- (1) 期日：平成31年4月27日（土）

- (2) 会場：東京都江東区 タイム24ビル

- (3) 出席者：山下 大輔（養和病院）

2. 訪問リハビリテーションフォーラム2019

- (1) 期日：平成31年4月28日（日）

- (2) 会場：東京都江東区 タイム24ビル

- (3) 出席者：山下 大輔（養和病院）

3. 鳥取県作業療法士会総会後研修会

- (1) 期日：令和元年5月19日（日）

- (2) 会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根43）

- (3) 内容：鳥取県作業療法士会教育部（MTDLP 委員会）、
特設委員会（地域包括ケアシステム対策委員会、認知症対策委員会）

- (4) 講師：土井 宣幸（はまかぜ）、原田 伸吾（株式会社つむぎ）、
菊本 理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）

4. 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会

- (1) 期日：令和元年6月29日（土）・30日（日）

- (2) 会場：YMCA 米子医療福祉専門学校

- (3) 内容：臨床実習指導者講習会に準ずる

5. 中国地区作業療法士会合同研修会（旧 中国地区作業療法士会リーダー養成研修会）

- (1) 期日：令和元年11月23日（土）・24日（日）

- (2) 会場：山口コ・メディカル学院、山口県教育会館

(3) 内容：

①クローズ研修会 11月23日

i. 講演：「ハラスメントについて」

講師：久留米大学 准教授 社会福祉士 片岡 靖子氏

ii. 各士会の現状報告

iii. グループワーク（災害対応、人材育成、地域包括ケアシステム構築への対応の現状について、生涯教育システム移行について、臨床実習指導者研修について）

②オープン研修会 11月24日

i. 講演：「管理者とスタッフ間のコミュニケーションの取り方」

講師：久留米大学 准教授 社会福祉士 片岡 靖子氏

(4) 参加者：当士会からは7名が参加

段 敬史（サンライズ名和）、永見 忠志（皆生温泉病院）、北山 朋宏（錦海リハビリテーション病院）、

藤田 恵子（セラトピア）、梅津 清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）、

菊本 理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）、小山 雅之（SOI STANCE）

6. 介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会全国設置・運営業務

(1) 鳥取県協議会

①第1回 令和元年8月11日

②第2回 令和元年9月23日

③第3回 令和元年11月4日

④第4回 令和元年12月1日

(2) 成果報告会

①令和2年2月8日、9日

(3) 推進委員会

①第2回 令和元年8月24日

②第3回 令和元年10月26日

③第4回 令和2年1月12日

(4) ワーキング会議

①第1回 令和元年6月11日

②第2回 令和元年6月29日

③第3回 令和元年7月13日

④第4回 令和元年7月15日

⑤第5回 令和元年8月1日

⑥第6回 令和元年10月21日

⑦第7回 令和元年10月31日

⑧第8回 令和元年11月22日

⑨第9回 令和元年11月26日

⑩第10回 令和元年11月27日

(5) 調査活動

①第1回 令和元年9月9日

②第2回 令和元年9月13日

③第3回 令和元年9月17日

④第4回 令和2年1月18日

(6) 参加者：段 敬史（サンライズ名和）、原 美苗（なんぶ幸朋苑）、

比田 亜希（SOI STANCE）、小山 雅之（SOI STANCE）

7. 訪問リハビリテーション実務者研修会

(1) 期日：令和2年2月22日（土）、23日（日）

(2) 会場：倉吉病院 地域交流センター アゼリアホール

(3) 内容：「職種・職場・地域の壁を軽々と越えて生活期のリハビリテーションを「ONE TEAM」で考えて実践するヒントと知識と技術を得よう」

①講演：「鳥取市の地域課題と、リハ職として貢献できること」

講師：鳥取市 福祉部 長寿社会課 地域包括ケア推進係 理学療法士 山根 伸亮氏

- ②講演：生活支援コーディネーターの役割について
講師：北栄町社会福祉協議会 介護支援課 生活支援コーディネーター 宮地 栄子氏
- ③講演・実技：「訪問リハ現場で役立つ呼吸療法の知識と技術 part II
～実例をもとにフィジカルアセスメントからのアプローチ
実技（呼吸介助、排痰介助など）～
講師：国立病院機構 鳥取医療センターリハビリテーション科 理学療法士 加藤 保氏
- ④講演：教科書に載っていないフィジカルアセスメント
講師：医療法人おもと会 統括リハビリテーション部
訪問リハビリテーション科 統括科長 宇田 薫氏
- ⑤講演：訪問リハの業務の工夫 ～間接業務・連携・部門運営～
講師：医療法人おもと会 統括リハビリテーション部
訪問リハビリテーション科 統括科長 宇田 薫氏

◎ 学術部

1. 第16回鳥取県作業療法学会

- (1)会期：令和元年11月10日（日）
- (2)会場：琴浦町生涯学習センター まなびタウンとうはく
- (3)内容：
- ①学会テーマ：「超高齢社会で未来を考える～車社会で生きるために～」
- ②特別講演：「認知機能低下と自動車運転～生活を捉えた作業療法士の支援～」
講師：酒井 英顕氏（岡山リハビリテーション病院 作業療法士）
座長：池本 真一（三朝温泉三喜苑）
- ③シンポジウム：「鳥取県における車社会の現状と課題～みんなが気になるアレコレ～」
シンポジスト：岩崎 大輔氏（養和病院 作業療法士）
影山 美喜恵氏（ひまわり居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員）
吉川 文康氏（鳥取県警察本部 交通部運転免許課 管理官）
座長：池本 真一（三朝温泉三喜苑）
- ④一般演題：口述発表（6演題）、ポスター発表（8演題）
- ⑤参加者：143名（事前登録98名、当日参加19名、他職種・一般26名）
- (4)役割：
- ①実行委員
- 学会長：池本 真一（三喜苑）
実行委員長：西村 純一（清水病院）
副実行委員長：郷原 達之（うつぶき）、河田 修（野島病院）
広報：勝部 智子（倉吉病院）、竹田 佳弘（倉吉病院）
会計：難波 康子（野島病院）、河田 修（野島病院）
演題：松本 周三（三朝温泉病院）
学会誌：三浦 純（三朝温泉病院）
会場・機器：幸田 真（藤井政雄記念病院）
特別講演：藤田 恵子（倉吉病院）
相談役：福井 由香里（ル・サンテリオン東郷）
学術部長：高梨 悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）
- ②当日スタッフ：
- 受付 高橋 博子（藤井正雄記念病院）、岡本 瑳菜（藤井政雄記念病院）、
大谷 八絵（清水病院）、田中 志穂（垣田病院）、清山 茜（三喜苑）、
清水 ありさ（倉吉病院）、末次 佳奈（倉吉病院）、藤原 沙織（三朝温泉病院）
- 会場 瀧 宏輔（藤井政雄記念病院）、月森 健介（野島病院）、
矢間 早貴（清水病院）、田村 綾香（清水病院）、前田 恵（倉吉病院）
- 機器 中村 貴紀（三朝温泉病院）、松本 生（三朝温泉病院）
- 接待 影井 奈央（野島病院）
- 駐車場 竹谷 豊（野島病院）、増崎 堅斗（三朝温泉病院）、細田 悠太（三喜苑）、

河口 皓一（倉吉病院）、河口 翔一（垣田病院）、綾女 智明（うつぶき）、
西村 友希（うつぶき）

(5) 実行委員会開催

回	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回
日付	R1. 2/18	R1. 2/27	R1. 4/11	R1. 5/14	R1. 6/17	R1. 7/18
場所	藤井正雄 記念病院	藤井正雄 記念病院	藤井正雄 記念病院	藤井正雄 記念病院	藤井正雄 記念病院	藤井正雄 記念病院
回	7 回	8 回	9 回	10 回	11 回	
日付	R1. 8/22	R1. 9/17	R1. 10/2	R1. 10/24	R1. 11/28	
場所	藤井正雄 記念病院	藤井正雄 記念病院	野島病院	野島病院	野島病院	

2. テーマ別勉強会

地区	テーマ別勉強会	登録者数		開催回数	決算額（円）
		R1 年度	前年度		
東部	東部地区全般勉強会	93	74	2	12,100
東・中部	特別支援教育（東部・中部）			1	0
中部	中部精神科勉強会	13	13	4	46,150
	中部地区合同勉強会	33	35	4	0
西部	西部精神科勉強会	33	32	5	0
	西部福祉用具・住環境勉強会	37	33	3	0
	CVA 勉強会	35	42	6	0
	作業を考える会	22	24	3	6,435
	治療演習・ADL 分析勉強会	10	12	0	0
	特別支援教育（西部）			2	0
総計		276	265	27	64,685

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

(1) ホームページ「生涯教育制度について」更新あり（県士会ニュース 2 月にも同様の記事を掲載）

(2) 生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行. 認定 O T 10 名

(3) 基礎研修ポイント管理・発行

① 協会よりポイントシール受領・返却 5.13 返却 532P、H31 分申請・受領 1200P

② 士会裁量基礎研修ポイント集計・発行予定 3.31 1P 140 名、2P 77 名 計 294P

③ 職者共通研修修了ポイント発行 5 件 100P

④ 現職者選択研修会ポイント発行 10.19 参加 12 名 24P

⑤ 鳥取県作業療法学会ポイント発行 11.10 参加 115 名、発表 14 名 計 129 名 258P

⑥ 基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

8 月 4 日 第 1 回 MTDLP 研修会 基礎 22 名 44P. 実践 6 名 12P

9 月 21 日 運転と作業療法研修会 20 名 40P

10 月 5 日 第 13 回認知症研修会 59 名 118P

10 月 27 日 東中部人材育成研修会 15 名 30P

12 月 8 日 第 14 回 認知症研修会 59 名 118P

12 月 8 日 第 2 回 MTDLP 研修会 14 名 28P

12 月 21 日 地域包括ケアシステム大研修会 26 名 52P

1 月 26 日 地域包括ケア 人材育成研修会【延期】

2 月 2 日 第 3 回 MTDLP 研修会 基礎 7 名 14P、実践 9 名 18P

2 月 22・23 日 鳥取県訪問リハ実務者研修会・在宅リハ研修会 16 名 48P

3 月 1 日 第 15 回認知症研修会 32 名 64P

3月14日 地域包括ケア 人材育成研修会【中止】

⑦基礎研修ポイント申請の受付・発行 32件 58P

2. 生涯教育制度に関する開催

(1) 現職者共通研修会

期日と会場	区分	テ ー マ	講 師	認定数
①前期 7月28日(日) 会場：西部 YMCA 米子	I	作業療法生涯教育概論	北山 朋宏：錦海リハ病院	36
		職業倫理	長田 貴徳：尾崎病院	36
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす	20
		作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA 米子	20
②後期 10月6日(日) 会場：東中部 鳥取医療センター	II	①6. 作業療法の可能性	宮城 直子：尾崎病院	27
		②8. 事例報告と事例研究	梅津 清司郎：YMCA 米子	27
	IV	①7. 日本と世界の作業療法の動向	北山 朋宏：錦海リハ病院	17
		②5. 実践のための作業療法研究	高梨 悠一：YMCA 米子	18

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

(1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）

地区	テーマ名	件数 (前年度)
東部	全 般	0 (0)
中部	中部合同	1 (1)
	精 神 科	0 (0)
西部	作業を考える	0 (0)
	C V A	2 (2)
	社会資源	0 (0)
	治療演習 ADL 分析	0 (0)
	精 神 科	0 (0)
計		3 (3)

(2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）

(3) SIG 等登録認定（SIG として認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）なし

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

(1) 2019 年度生涯教育制度推進担当者会議会への出席 12 月 7・8 日 東京文具共和会館 北山 朋宏
・生涯教育制度改定 2020 について情報を得た。

(2) 生涯教育受講登録システムへの登録 (1. (3) ④⑤⑥、2. (1)、3. (1) 参照)

5. 会員への情報伝達

(1) 県士会ニュースへの掲載

- ・前期現職者共通研修会（I・III）のご案内
- ・後期現職者共通研修会（II・IV）のご案内（未掲載）

(2) ホームページへの掲載

- ・前期現職者共通研修会（I・III）のご案内
- ・後期現職者共通研修会（II・IV）のご案内

(3) その他

「生涯教育制度について」の説明 5.19 定時社員総会後に実施

6. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2) 事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3) 領域対策部：現職者選択研修会など
- (4) 事務局：会員管理事務など

(5)特設委員会：士会主催研修会など

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

1. 令和元年度鳥取県地域医療介護総合確保基金
介護予防の推進に資する OT, PT, ST 指導者育成事業、
生活行為向上マネジメント啓発事業
補助金合計：¥850,000
2. 委員会開催
第1回：平成31年4月20日 第2回：令和元年6月8日 第3回：令和元年10月26日
第4回：令和2年1月25日
3. 全国会議派遣
生活行為向上マネジメント士会連携推進連絡会議
期 日：令和元年8月25日（日）
場 所：TKP ガーデンシティ新大阪
参加者：土井 宣幸
内 容：MTDLP 士会連携支援室事業について
今後の MTDLP 推進についての説明
4. 派遣研修会
生活行為向上マネジメント指導者研修会
日 時：令和2年2月29日（土）～3月1日（日）
場 所：兵庫県 甲南女子大学
講 師：谷川 真澄氏、柴田 八衣子氏、竹内 さをり氏 他
内 容：MTDLP 指導者として必要な技術を習得する
対象者の生活行為向上及び地域連携力向上のためのマネジメントについて学ぶ
対象者が必要と感じている生活行為を聞き取るための視点や方法を学ぶ
スタッフ派遣：橋本 梢（尾崎病院）、竹谷 豊（のじま）、足立 貢一（はまかぜ）
新型コロナウイルス対策のため研修会中止連絡あり派遣中止とした
5. 県内研修会
(1)令和元年度 第1回 MTDLP 研修会
日 時：令和元年8月4日（日） 基礎研修 9：00～16：20 実践者研修 9：00～12：10
場 所：アゼリアホール（倉吉市）
参加者：基礎研修参加者：27名 実践者研修参加者：6名（実践者2名、聴講4名）
(2)令和元年度 第2回 MTDLP 研修会（大研修会）
日 時：令和元年12月8日（日）10：00～16：00 実践者研修 9：00～12：10
場 所：米子コンベンションセンター（米子市）
参加者：作業療法士：14名 他職種：13名
(3)令和元年度 第3回 MTDLP 研修会
日 時：令和元年2月2日（日）基礎研修 9：00～16：20 実践者研修 9：00～13：00
場 所：アゼリアホール（倉吉市）
参加者：基礎研修参加者：9名 実践者研修参加者：13名（実践者5名、聴講8名）

◎領域対策部

1. 現職者選択研修（精神障害領域）
(1)期日：令和元年10月19日（土） 9：20～16：30
(2)会場：鳥取県立福祉人材研修センター
(3)内容：

テーマ1：精神障害作業療法の基礎知識	田住 秀之：YMCA 米子医療福祉専門学校
テーマ2：精神障害作業療法の展開方法	村山 大佑：鳥取医療センター
テーマ3：精神障害作業療法の実践	南 庄一郎：やまと精神医療センター
テーマ4：精神障害作業療法関連のトピックス	南 庄一郎：やまと精神医療センター

- (4)参加者：12名（県内12名）

- (5) 委員：坂本 一郎（さとに田園クリニック）、下田 知慧（にしまち幸朋苑）、
金築 亜美（にしまち幸朋苑）、橋本 秀次（鳥取医療センター）、
前谷 達也（さとに田園クリニック）、寺坂 恵梨（尾崎病院）、
衣笠 真理恵（中央病院）、平木 久美子（ウェルフェア北園渡辺病院）

◎ 財務部

1. 会費徴収について

(1) 会費徴収

- ① 会員数：542 名（内休会中 7 名、納入後の退会者は含まず）
- ② 会費納入者数：527 名（他県士会での納入、納入後の転出者含む）
- ③ 会費未納者数：10 名（休会中 7 名含まず）
- ④ 徴収率：97%

(2) 未納者への督促

- ① ホームページや県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT 協会）を掲載
- ② 令和元年 12 月に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施

2. ボランティア保険加入手続き

123 名の加入手続きを行った

3. 予算事務に関する特記事項

令和元年度(1)～(3)について計上した予算は決算書のとおり執行した

◎ 規約委員会

委員会開催：開催なし

ホームページ掲載用施行規則データの修正準備。各種申込書等の修正を行う

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演

- (1) 期日：令和元年 7 月 28 日（日） 11：10～12：40
- (2) 会場：YMCA 米子医療福祉専門学校
- (3) 講師：長田 貴徳氏（尾崎病院）

2. 相談への対応

- (1) 相談件数：0 件

3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

- (1) 一般社団法人日本作業療法士協会倫理委員会への報告はなし

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書・議事録作成

2. 定時社員総会の開催

- (1) 期日：令和元年 5 月 19 日（日） 9：30～10：25
- (2) 会場：地域交流センター アゼリアホール
- (3) 内容：平成 30 年度事業報告書承認

平成 30 年度決算報告書承認及び監査報告

令和元年度事業計画及び予算

議長 若 利恵 （鳥取県看護協会訪問看護ステーション）

書記 中村 径雄（鳥取医療センター）

石丸 雅崇（渡辺病院）

- (4) 定足数：総社員数 524 名、総会出席者 96 名、委任状 271 名の合計 367 名の議決権を有しており、
開催に対して影響はなかった

3. 臨時社員総会の開催

- (1) 期日：令和元年 11 月 10 日（日） 15：55～16：25
- (2) 会場：まなびタウンとうはく
- (3) 内容：役員改選（監事選出）
規約変更

議長 平木 久美子（ウェルフェア北園渡辺病院）

書記 下石 勝哉（デイサービスつむぎ）

田中 圭介（デイサービスつむぎ）

- (4)定足数：総社員数 557 名、総会出席者 49 名、委任状 360 名の合計 409 名の議決権を有しており、開催に影響はなかった

◎ 選挙管理委員会

1. 委員会開催（計 7 回）

- (1)期日：令和元年 5 月 16 日、6 月 12 日、6 月 28 日、8 月 28 日、10 月 31 日
令和 2 年 1 月 29 日、3 月 5 日（引継ぎ）

- (2)内容：マニュアル作成、監事選挙について、引継ぎ

2. 鳥取県作業療法士会役員候補者（監事）選挙の公示

- (1)役員候補者（監事）選挙の公示

①方法：鳥取県作業療法士会ホームページ掲載

②期間：7 月 10 日～8 月 12 日

③立候補者：1 名

- (2)理事会報告

①立候補者結果報告

②定足数に対して理事会での承認

◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

1. 研修会開催

- (1)地域包括ケアシステム人材育成別研修会（1 回）

テーマ：地域包括ケアシステムについてシステムの紹介と OT の役割

東中部研修会

①開催日：令和元年 10 月 27 日（日曜日）

②会 場：鳥取県民体育館

③講 師：鳥取県作業療法士会 地域ケアシステム対策委員 永見 忠志、原田 伸吾

④参加者：15 名

西部地区研修会：新型コロナウイルス感染予防のため中止

①開催日：令和 2 年 3 月 14 日（土曜日）

- (2)地域包括ケアシステム大研修会（1 回）

①開催日：令和元年 12 月 21 日（土曜日）

②会 場：米子東病院 大研修室

③テーマ：チームで引き出すその人のニーズと強み

④内 容：オリエンテーション

対象者のニーズ・強みを捉えるポイント、多職種連携について

村瀬 良知（済生会境港総合病院）、三上 将史（山陰労災病院）

グループワーク：事例検討を中心に

⑤参加者：会員 26 名 会員外：3 名 合計 29 名

- (3)運転と作業療法研修会

①開催日：令和元年 9 月 21 日（土曜日）

②会 場：地域交流センター アゼリアホール

③内 容：「概要と鳥取県作業療法士会での取組み」

坂本 一郎（さとに田園クリニック）

「事例および実践紹介、グループワーク」

岩崎 大輔（養和病院）

④参加者：18 名

- (4)地域包括ケア会議見学

北栄地域ケア会議

鳥取市中央包括支援センターケア会議（2 回）

(5)在宅医療と介護連携研修会 令和元年 11 月 12 日

鳥取県介護支援専門員連絡協議会西部支部・鳥取県作業療法士会共催 会員 20 名派遣

2. 委員会開催

(1)地域包括ケアシステム対策委員会・生活行為向上マネジメント特設委員会

・認知症対策特設委員会合同委員会

1 回目：平成 31 年 4 月 18 日

2 回目：令和元年 6 月 18 日

(2)東部委員会東部地域包括ケアシステム対策委員会

1 回目：令和元年 7 月 29 日

2 回目：令和元年 8 月 19 日

(3)中部委員会

1 回目：令和元年 10 月 17 日

(4)西部委員会

1 回目：令和元年 8 月 28 日

2 回目：令和元年 9 月 18 日

3 回目：令和元年 10 月 16 日

4 回目：令和元年 11 月 20 日

5 回目：令和元年 12 月 11 日

6 回目：令和 2 年 1 月 15 日

(5)東・中・西部責任者・災害対策責任者合同会議

1 回目：令和元年 7 月 3 日

2 回目：令和元年 8 月 13 日

3. 会議出席

(1)各地区地域医療構想会議出席

出席者：東部 長田 貴徳（令和元年 9 月 4 日、令和 2 年 1 月 15 日、令和 2 年 3 月 11 日）

中部 池本 真一（令和元年 12 月 6 日）

(2)令和元年度第 1 回米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会

出席者：永見 忠志（平成 31 年 5 月 16 日）

(3)令和元年度第 2 回米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会

出席者：永見 忠志（令和 2 年 1 月 29 日）

(4)令和元年度第 1 回米子市地域包括支援センター運営協議会

出席者：永見 忠志（令和元年 7 月 5 日）

(5)福米東公民館地域交流サロン会議

出席者：永見 忠志（令和元年 9 月 27 日）

4. 災害時対応マニュアルの作成協議

(1)県土会理事によるライングループの作成

(2)2019 年度災害発生を想定した訓練参加（令和元年 9 月 25 日）

5. 協力委員メンバー

全体責任者：永見 忠志（皆生温泉病院）

東部委員：原田 伸吾（デイサービスつむぎ）、長田 貴徳（尾崎病院）、

下石 勝哉（鳥取生協病院）、村山 大佑（鳥取医療センター）、

大渕 賢一（鳥取赤十字病院）、村上 聡（まさたみの郷）、

川下 洋範（いなば幸朋苑）、佐野 和代

木下 真実（鳥取生協病院）

中部委員：西村 純一（清水病院）、三浦 純（三朝温泉病院）、

河田 修（野島病院）、中村 貴紀（三朝温泉病院）、

幸田 真（藤井政雄記念病院）福井 由香里（ル・サンテリオン東郷）

西部委員：小椋 善文（米子市役所）、横野 洋子（仁風荘）、

山本 香織（おしどり荘）、加藤 淳美（サンライズ名和）、

三上 将史（山陰労災病院）、田中 卓（養和病院）、

村瀬 良知（済生会境港総合病院）

災害対策：藤田 恵子（セラトピア）

運転研修：坂本 一郎（さとに田園クリニック）、岩崎 大輔（養和病院）、

中村 貴紀（三朝温泉病院）、坂尻 信幸（県立中央病院）、

影井 奈央（野島病院）、増崎 堅斗（三朝温泉病院）、

幸田 真（藤井政雄記念病院）、中島 直（尾崎病院）、

服部 未来子（鳥取生協病院）、佐藤 亜美香（ウェルフェア北園渡辺病院）、

◎ 認知症対策委員会

1. 認知症研修会

(1) 第 13 回認知症研修会

- ①日 時：2019 年 10 月 5 日（土）
- ②会 場：YMCA 米子医療福祉専門学校
- ③内 容：認知症の人の生活行為障害に残存能力を生かす
- ④講 師：田平 隆行氏（鹿児島大学医学部保健学科 作業療法学専攻 教授）
- ⑤参加者：73 名

(2) 第 14 回認知症研修会

- ①日 時：2019 年 12 月 8 日（日）
- ②会 場：鳥取県福祉人材研修センター
- ③内 容：地域での利用者が働く取り組みについて/OT 協会アップデート研修
- ④講 師：田端 重樹氏（京都市西院地域包括支援センター 作業療法士）
- ⑤参加者：58 名

(3) 第 15 回認知症研修会

- ①日 時：2020 年 3 月 1 日（日）
- ②会 場：YMCA 米子医療福祉専門学校
- ③内 容：パーソン・センタード・アプローチとプール活動レベルを用いた評価と介入
- ③講 師：小川 真寛氏（京都大学大学院医系研究科 人間健康科学系専攻 作業療法学講座 助教）
- ④参加者：33 名

2. 全国研修派遣/視察派遣

(1) OT 協会認知症推進員会議（東京）

- ①日 程：2019 年 11 月 9 日（土）・10 日（日）
- ②会 場：TKP 築地カンファレンスセンター
- ③派遣者：認知症推進員 田住 秀之（YMCA 米子）、認知症委員 菊本 理恵（YMCA 米子）

(2) 視察派遣

- ①いきいき福祉ネットワーク（東京）視察派遣
- ②日 時：2020 年 2 月 27（木）・28 日（金）
- ③派遣者：菊本 理恵（YMCA 米子）、岡野 元明（照陽の家）、横尾 和也（渡辺病院）

3. 認知症研修会等修了状況（H31.3.18 現在）

- (1) 認知症研修 6 テーマ受講修了者 106 名
- (2) OT 協会アップデート研修受講修了者 165 名
- (3) 認知症初期集中支援チーム員研修受講者 6 名/伝達講習受講者 90 名（他職種含む）

4. 事業協力派遣

(1) とっとり方式認知症予防プログラム普及啓発事業協力

- ①協力内容
 - i. 認知症専門士講座デモンストレーション（鳥取市・名古屋）派遣協力 7 名
 - ii. 市民公開講座認知症予防の啓発事業（コンベンションセンター・まなびタウン）派遣協力 9 名
 - iii. とっとり方式認知症予防市町村・事業所向け説明会/指導者育成研修会 派遣協力 12 名
 - iv. 三朝町・北栄町とっとり方式認知症予防教室講師 派遣協力 2 名
- ②とっとり方式認知症予防事業 派遣協力者
作野 亘（なんぶ幸朋苑）、永栄 夏育（米子病院）、金山 雄気（養和病院）、菊本 理恵（YMCA 米子）、
仲田 奈生（島根リハビリテーション学院）、田住 秀之（YMCA 米子）、大木 結加（皆生温泉病院）、
安井 愛美（大山リハビリテーション病院）、藤田 恵子（セラトピア）、安井 和子（YMCA 米子）、
北山 朋弘（錦海リハビリテーション病院）

(2) 認知症初期集中支援チーム員

- ①東部：石丸 雅崇（渡辺病院）、坂本 一郎（さとに田園クリニック）
- ②中部：梅津 清司郎（YMCA 米子）、藤田 恵子（セラトピア）、池本 真一（三喜苑）、
幸田 真（藤井正雄記念病院）、大西 千香子（藤井政雄記念病院訪問リハビリテーション）

- ③西部：田住 秀之（YMCA 米子）、菊本 理恵（YMCA 米子）
- (3)認知症啓発イベント「RUNTOMO TOTTORI」開催協力
 - ①日 時：2019 年 10 月 19 日（土）西部・中部地区 10 月 20 日（日）東部地区
 - ②参加者：130 名 28 チーム
- (4)若年認知症の人と家族の集い「にっこりの会」
 - ①協力内容
 - i. にっこりの会定例会協力（15 回） 派遣協力 9 名
 - ii. 家族会一泊研修旅行（鳥取市） 派遣協力 2 名
 - iii. 中四国ブロック家族の会会議（米子市） 派遣協力 1 名
 - ②派遣協力者
 - i. 東部：横尾 和也（渡辺病院）、稻田 拓也（いなば幸朋苑）、清水 佳子（にしまち幸朋苑）
 - ii. 中部：藤田 恵子（セラトピア）、小南 哲（野島病院）遠藤 慎治（野島病院）
 - iii. 西部：岡野 元明（照陽の家）、菊本 理恵（YMCA 米子）、形部 美那子（なんぶ幸朋苑）
- (5)西部ろうあ仲間サロン介護予防教室講師：菊本 理恵（YMCA 米子）
- (6)中部地区検討会：山根 七恵（倉吉病院）、大西 千香子（藤井政雄記念病院訪問リハビリテーション）
- (7)米子市認知症施策を考える会：田住 秀之（YMCA 米子）
- 5. 認知症対策委員/研修運営スタッフ
 - (1)令和元年度認知症対策委員 16 名
 - ①担当理事：田住 秀之（YMCA 米子）
 - ②西部：高梨 悠一（YMCA 米子）、菊本 理恵（YMCA 米子）、金山 雄気（養和病院）、岡野 元明（照陽の家）、赤井 理智子（西伯病院）、足立 沙智子（西伯病院）、門脇 達也（養和病院）
 - ③東部：石丸 雅崇（渡辺病院）、横尾 和也（渡辺病院）、古土居 知恵（デイサービスつむぎ）
 - ④中部：山根 七恵（倉吉病院）、山本 麻未（倉吉病院）、末次 佳奈（倉吉病院）、遠藤 慎治（野島病院）、松本 生（三朝温泉病院）

◎ その他

第 2 号議案 令和元年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録

貸借対照表

令和元年度決算書（全体）

令和元年度決算書（一般会計）

令和元年度決算書（特別会計）

正味財産増減計算表

財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

科目			金額		
資産 の 部	1.流動資産				3,572,110
	1)現金		252,718	252,718	
	2)普通預金	鳥取銀行三柳支店 303931(財務)	1,006,074		
	普通預金	〃三柳支店 303940(事務局)	2,203		
	普通預金	〃三柳支店 303950(生活行為向上マネジメント)	180,218		
	普通預金	〃三柳支店 303978(領域対策)	147,495		
	普通預金	〃三柳支店 303987(広報)	30,284		
	普通預金	〃三柳支店 312449(学術)	140,975		
	普通預金	〃三柳支店 312458(地域包括ケア対策)	0		
	普通預金	〃三柳支店 312467(認知症対策)	170,528		
	普通預金	〃三柳支店 327989(事業部)	71,377		
	郵便振替	ゆうちょ銀行	1,570,238		
	郵便振替	ゆうちょ銀行(県学会事前参加費)	0	3,319,392	
	3)立替金	未収入金	0	0	
	2.固定資産				455,000
(1)特定資産					
1)啓発グッズ等積立預金 ゆうちょ銀行		455,000	455,000		
資産合計					4,027,110
負債 の 部	I.流動負債				318,150
	1)前受金	正会員会費 R2 3件	15,000	15,000	
	2)預り金	補助金の返金額	303,150	303,150	
	負債合計				318,150
正味財産					3,708,960

鳥取県作業療法士会

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【3,572,110】	【流動負債】	【318,150】
現金・預金	3,572,110	前受金	15,000
		預り金	303,150
【固定資産】	【455,000】	負債合計	318,150
(特定資産)	(455,000)	純資産の部	
啓発グッズ積立預金	455,000	【剰余金】	【3,708,960】
		啓発グッズ積立金	500,000
		繰越利益剰余金	3,208,960
		純資産合計	3,708,960
資産合計	4,027,110	負債・純資産合計	4,027,110

令和元年度決算書（全体）

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

勘定科目			
大科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,500,000	2645000	-145000
研修会収入	645,000	376000	269,000
補助金等の収入 (特別会計含む)	2,715,915	2715915	0
雑収入	1,000	20	980
事業活動収入合計(A)	5,861,915	5,736,935	124,980

(単位:円)

2. 事業活動支出			
(1) 管理運営部門			
	予算額	決算額	差額
事務局	804,000	566,001	237,999
財務部	264,000	227,754	
規約委員会	27,000	0	27,000
倫理委員会	2,000	0	2,000
総会議事運営委員会	63,000	70,628	-7628
選挙管理委員会	40,000	18,200	21,800
(2) 事業費支出			
渉外部	5,000	4,766	234
広報部	462,000	419,716	42,284
事業部	712,000	291,586	420,414
学術部	904,000	498,676	405,324
教育部	126,000	103,724	22,276
領域対策部	284,000	126,505	157,495
生活行為向上マネジメント委員会	0	53,021	-53,021
地域包括ケア対策委員会	0	45,882	-45,882
認知症対策委員会	0	104,512	-104,512
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	0	952,521	-952,521
地域包括ケアシステム研修事業	0	578,882	-578,882
チームケアリーダー育成研修事業	0	1,184,512	-1184512
事業活動支出計 (B)	3,693,000	5,246,886	-1,553,886
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	2,168,915	490,049	1,678,866

勘定科目	第2次補正予算額	決算額	差額	備 考
中 科 目				
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	45,000	△ 45,000	
投資活動収入計 (D)	0	45,000	△ 45,000	
2. 投資活動支出				
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	50,000	0	郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000	50,000	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	-50,000	△ 5,000	△ 45,000	
III 予備費支出 (G)	200,000	0	200,000	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	1,918,915	485,049	1,433,866	
前 期 繰 越 収 支 差 額 (I)	2,768,911	2,768,911	0	
次 期 繰 越 収 支 差 額 (J) = (H) + (I)	4,687,826	3,253,960	1,433,866	

令和元年度決算書（一般会計）

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

勘定科目							備 考
大科目	予算額	決算額	差額	小科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
会費収入	2,500,000	2,645,000	△ 145,000	年会費	2,500,000	2,645,000	-145000
							5,000円×529名
研修会収入	645,000	376,000	269000	第16回県学会	300,000	251,500	48,500
							事前参加費198,000円(99名) 当日参加費53,500円(31名) 計:130名
				現職者共通研修	70,000	100,500	-30500
				現職者選択研修	120,000	24,000	96,000
				MTDLP研修会	25,000	0	25,000
				地域包括ケア	55,000	0	55,000
				認知症	75,000	0	75,000
補助金等の収入 (特別会計除く)	0	0	0	協賛金	0	0	0
				助成金	0	0	0
				賛助費	0	0	0
雑収入	1,000	20	980	雑収入	1,000	20	980
							預金利息
事業活動収入合計(A)	3,146,000	3,021,020	124,980		3,146,000	3,021,020	124,980

(単位:円)

2. 事業活動支出													
(1) 管理運営部門													
	当初予算額	第2次補正予算額	決算額	差額	中項目	第2次補正予算額	決算額	差額	小 項 目	第2次補正予算額	決算額	差額	備 考
事務局	804,000	842,000	566,001	275,999	事 務 費	189,900	110,356	79,544	事務用品費	72,900	44,229	28,671	事務用品:33,279円、変更登記事務費(印鑑証明等)10,950円
									通 信 費	67,000	58,599	8,401	発送、切手代:10,204円、振り込み手数料:440円、法人メール管理料13,190円/年、法人携帯使用料34,765円/年
									封筒作成費	50,000	7,528	42,472	宛名修正シール7,528円
					会 場 費	9,000	8,010	990	会 場 費	9,000	8,010	990	理事会6回 8,010円
					役 務 費	521,100	344,240	176,860	旅 費	521,100	344,240	176,860	OT総会受付手伝い 3,700円 理事会等 99,600円 平成31年度定時社員総会 5,000円(日当5,000円×1日×1名) 47都道府県委員会199,440円 日当 30,000円 納税500円、変更登記申請1,000円、変更登記書類準備打ち合わせ2,000円、事務局業務3,000円 代表理事活動費0円
					需 用 費	6,000	5,475	525	茶菓子代	6,000	5,475	525	総会準備、理事会、変更登記食糧費
					税 金	101,000	80,000	21,000	法人県民税	21,000	0	21,000	法人県民税・年間(鳥取県)
									法人市民税	60,000	60,000	0	法人市民税・年間(米子市)
									登録免許税	20,000	20,000	0	法人役員変更10,000円×2回(5月役員の変更、10月ごろ監事の変更)
					負 担 金	0	0	0	負 担 金	0	0	0	
					慶 弔 費	15,000	17,920	-2,920	慶 弔 費	15,000	17,920	-2,920	OT協会災害支援金10,000円、電報(祝電)7,920円等

財務部	264,000	264,000	227,754	36,246	事務費	45,700	32,044	13,656	ウィルス対策ソフト	14,000	0	14,000	PCアンチウィルスソフト更新代
									事務用品費	5,400	11,728	-6328	事務用品
									通 信 費	21,300	12,916	8,384	wifi通信料、振込手数料
					役 務 費	35,000	26,500	8,500	利 用 料	5,000	7,400	-2400	会計ソフト年間利用料
									旅 費	35,000	26,500	8,500	監査、総会費受付、財務部業務、税理士相談時、納税交通費26,500円
									食 糧 費	3,500	2,800	700	700円×4名
					需用費	6,500	5,794	706	茶菓子代	3,000	2,994	6	監査、委員会開催
規約委員会	27,000	27,000	0	27,000	相談費	64,800	64,800	0	相 談 料	64,800	64,800	0	税理士相談料
					保 險 費	112,000	98,616	13,384	保 險 費	112,000	98,616	13,384	800円×123名、手数料216円(108円×2回)
					事務費	1,400	0	1,400	事務用品費	1,000	0	1,000	資料ファイル4冊
									通 信 費	400	0	400	
									旅 費	20,000	0	20,000	委員会交通費(3000円×4名、500円×16名)
					役 務 費	20,000	0	20,000	食 糧 費	5,600	0	5,600	700円×4名×2回
					需用費	5,600	0	5,600	事務用品費	1,000	0	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
倫理委員会	2,000	2,000	0	2,000	事務費	2,000	0	2,000	通 信 費	1,000	0	1,000	切手、送料、電話料金
総会議事運営委員会	63,000	73,000	70,628	2,372	事務費	3,000	488	2,512	事務用品費	2,000	488	1,512	ファイル、その他事務用品、切手代合計488円
									通 信 費	1,000	0	1,000	郵送料
									会 場 費	10,000	8,640	1,360	総会会場費(会場代、備品使用代)
					役 務 費	57,000	60,100	-3,100	会 場 費	10,000	8,640	1,360	総会会場費(会場代、備品使用代)
										17,100	38,100	-21,000	定時社員総会交通費36,900円+会場調整会議交通費1,200円
										39,900	22,000	17,900	臨時社員総会交通費22,000円
					需 要 費	3,000	1,400	1,600	茶菓子代	3,000	1,400	1,600	委員2名分の弁当代金1,400円
選挙管理委員会	40,000	35,000	18,200	16,800	事務費	20,000	0	20,000	事務用品費	20,000	0	20,000	ファイル・付箋印刷用紙等
									通 信 費	0	0	0	※選挙開催時・別途計上
									委 託 費	0	0	0	※選挙開催時・別途計上
					会 場 費	0	0	0	会 場 費	0	0	0	
					印 刷 費	0	0	0	印 刷 費	0	0	0	※選挙開催時・別途計上
					役 務 費	10,000	18,200	-8,200	旅 費	10,000	18,200	-8,200	定期委員会開催(12,000円 6回) 委員会、引継ぎ開催日(6,200円) ※選挙開催時臨時招集時:別途計上
					需 要 費	5,000	0	5,000	食 糧 費	0	0	0	※選挙開催時・別途計上
渉外部	5,000	5,000	4,766	234	事務費	2,300	366	1,934	事務用品費	1300	366	934	資料ファイル
									通 信 費	1000	0	1,000	
									役 務 費	2,700	4,400	-1,700	県教育委員会訪問1,200円×1名 鳥取県国民医療推進協議会総会500円×1名 YMCA米子医療福祉専門学校入学式 500円
					役 務 費	2,700	4,400	-1,700	旅 費	2,700	4,400	-1,700	児童保育話し合い(末恒小学校)500×1名+1200×1名 特別支援教育(明治小学校)500×1名
広報部	462,000	457,000	419,716	37,284	事務費	63,800	37,378	26,422	事務用品費	4,800	698	4,102	事務費(330+306+62)
									通 信 費	19,000	0	19,000	ホームページ通信費
									委 託 費	40,000	36,680	3,320	作業所委託(郵送料含む):36,680円
					印 刷 費	244,000	200,978	43,022	印 刷 費	244,000	200,978	43,022	ニュース印刷委託費:200,978円(印刷・封入・送料)
					ホームページ費	53,000	81,481	-28,481	管 理 費	53,000	81,481	-28,481	ホームページ費:52,081円、新HP作成費25,000円、2月分新HP費4,400円
					役 務 費	8,600	25,600	-17,000	旅 費	8,600	25,600	-17,000	広報部会・新HP委員会・公印受渡:25,600円
					需 要 費	2,000	5,505	-3,505	茶菓子代	2,000	5,505	-3,505	打合せお菓子代:5,505円
					啓発キャンペーン	85,600	68,774	16,826	事 務 費	13,000	2,100	10,900	当日配布資料:2,100円
									材 料 費	40,000	57,844	-17,844	材料費:12,844円、啓発グッズポロシャツ作成:45,000円
									会 場 費	3,000	0	3,000	備品等
									役 務 費	18,600	7,600	11,000	会議交通費:7,600円
					需 用 費	11,000	1,230	9,770					
													茶菓子代:1,230円

事業部	712,000	757,000	291,586	465,414	事 務 費	3,220	324	2,896	事務用品費	2,000	0	2,000	事務用品費2,000円
					総会後研修費	61,500	13,500	48,000	通 信 費	1,220	324	896	手数料324円、
									報 償 費	6,000	6,000	0	総会時間准研修会6,000円(2,000円×3名)
									交 通 費	1,500	0	1,500	
									印 刷 費	54,000	7,500	46,500	カラー印刷代7,500円・5円×1500枚
					訪問リハ	280,000	98,139	181,861	旅 費	170,000	54,260	115,740	訪リハ地域リーダー育成:54,260円(旅費 東京⇄米子 交通費45,760円(航空券代44,380円、JRI,380円)、宿泊費6,500円)
										30,000	11,000	19,000	訪問リハビリテーションフォーラム:11,000円(参加費1,000円、日当10,000円)
									負 担 金	80,000	32,879	47,121	POST負担金
					中国地区リーダー養成研修会	367,280	179,623	187,657	旅 費	317,280	169,623	147,657	交通費68,123円(レンタカー代37,830円、ガソリン代10,493円+9,600円、ETC代6,800円+4,000円)、宿泊費40,900円(7,850円×4名、9,500円×1名)、日当60,000円(1日目5,000円×7名、2日目5,000円×5名)
									負 担 金	50,000	10,000	40,000	中国支部(士会負担金)
					介護ロボットニーズ・シリーズ	45,000	0	45,000	旅 費	45,000	0	45,000	(一社)日本作業療法士協会より旅費の支払いがあったため、県士会からの持ち出し無し。
学術部	904,000	962,000	498,676	463,324	事 務 費	6,200	1,774	4,426	事務用品費	3,000	216	2,784	収納ボックス、ケース
									通 信 費	3,200	1,558	1,642	切手代(82円×19通)
									勉強会活動費	200,000	18,535	181,465	勉強会活動費
									勉強会活動費	200,000	18,535	181,465	作業を考える会6,435円、東部全般8,000円、交通費4,100円
									研修会支援費	50,000	46,150	3,850	研修会支援費
					第16回県学会	671,300	420,717	250,583	研修会支援費	50,000	46,150	3,850	中部精神科講師費40,000円、交通費1,940円、会場1,890円、講師昼食2,100円、茶菓子220円
									講 師 費	100,500	66,640	33,860	酒井OT 報償費 30,000円+宿泊費8,200円+交通費12,440円
													影山CM 報償費 12,000円+交通費500円
													岩崎OT 報償費 2,000円+交通費1,500円
									会 場 費	65,000	75,719	-10,719	会場費 64,185円
													会場関連費 11,534円(花代5,000円+横断幕5,984円+手数料550円)
									印刷製本費	312,000	115,100	196,900	チラシ代 11,990円+手数料110円
													ポスター代 3,940円
													資料コピー代 19,060円(酒井OT資料 13,460円+シンポジスト資料 4,800円+アンケート 800円)
													学会誌印刷製本 80,000円
									会 議 費	5,000	0	5,000	
									事 務 費	50,000	14,730	35,270	事務費 10,274円
													通信費 4,236円、220円
									役 務 費	88,000	87,400	600	委員旅費 61,500円(4名(500円)×9回=18,000円、6名(500円)×9回=24,000円 1名(500円)×2回=1,000円 1名(1500円)×4回=6,000円、下見3名(500円)×3回=4,500円 5名(500円)×2回=5,000円 3名(500円)×1回=1,500円 1名(1500円)×1回=1,500円)
													当日役員旅費 25,900円(500円×29名=14,500円 6名×1500円=9,000 2名×1200円=2,400円)
									需 用 費	50,800	61,128	-10,328	講師等用茶菓子 11,478円
													弁当代 31,100円 (1,000円×8個=8,000円 700円×33個=23,100円)
													実行委員会茶菓子代 1,680円
													当日委員茶菓子・飲料 9,870円
													役員・委員前日夕食 7,000円 (700円×10名)
									査読委員会	18,500	0	18,500	役 務 費
									第17回県学会	16,000	0	16,000	役 務 費
										16,000	11,500	4,500	実行委員・会場下見旅費 11,500円
教育部	126,000	133,000	103,724	29,276	事 務 費	7,600	324	7,276	事務用品費	2,600	324	2,276	事務用ケース324円
					講 師 費	95,400	79,700	15,700	通信運搬費	5,000	0	5,000	
									報 償 費	78,000	66,000	12,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名)
													事例報告指導18,000円(6,000円×3名)
									旅 費	17,400	13,700	3,700	現職者共通研修 12,200円(前期西部4,500円(3,000円×1名、500円×3名)、後期東部7,700円(3,000円×2名、1,200円×1名、500円×1名))
					会 場 費	10,000	5,000	5,000	事例報告	1,500円(500円×3名)			
									会 場 費	10,000	5,000	5,000	現職者共通研修 前期(西部)5,000円、後期(東部)0円
					役 務 費	20,000	18,700	1,300	旅 費	20,000	18,700	1,300	現職者共通研修 前期西部3,000円(1000円×2名、500円×2名)、後期東部15,700円(500円×2名、3000円×2名、1200円×1名、1000円×1名、500円×1名)

領域対策部	284,000	279,000	126,505	152,495	事 務 費	2,000	0	2,000	事務用品費	1,000	0	1,000								
					通 信 費				1,000	0	1,000									
					現職者選択研修	277,000	126,505	150,495	講 師 費	155,000	66,166	88,834	報償費48,000（県外講師）36,000円（県内講師）12,000円（6,000円×2名） 旅費18,166円（県外講師）宿泊費6,626円、交通費8,040円（県内講師）3,500円（3,000円×1名、500円×1名） 会場費							
									会 場 費	20,000	0	20,000								
									印刷製本費	20,000	6,800	13,200	コピー用紙代、印刷トナー代							
									会 議 費	5,000	0	5,000	講師打合せ会場費							
									事 務 費	1,000	0	1,000								
									役 務 費	35,000	24,000	11,000	500円×48（全7回×参加者数） 講師昼食 2,820円（940円×3名） 委員昼食 4,410円（630円×7名） 当日夕食 4,500円（講師1,000円×1名、700円×5名） 講師茶菓子・飲み物 5,934円 委員茶菓子代5,437円（7回） 茶器セット 6,438円							
									需 用 費	41,000	29,539	11,461								
					生活行為向上マネジメント委員会	370,000	408,000	53,021	354,979	事 務 費	5,000	0	5,000	事 務 費	4,000	0	4000	特別会計①に記載		
通 信 費				1,000						0	1000									
役 務 費	30,400	0	30,400	旅 費						30,400	0	30400								
会 議 費	20,000	20,000	0	会 議 費						20,000	20,000	0								
需 用 費	38,600	32,409	6,191	食 糧 費						12,600	17,090	-4490								
生活行為向上マネジメント （リハビリテーション） 啓発事業	314,000	0	314,000	茶菓子代						26,000	15,319	10681	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業							
				事 務 費						5,000	0	5000								
				講 師 費						140,000	0	140000								
				会 場 費						24,000	0	24000								
				印刷製本費						30,000	0	30000								
				会 議 費						5,000	0	5000								
				役 務 費						90,000	0	90000								
需 用 費	20,000	0	20000																	
返 金	0	612	-612	返 金						0	612	-612	H30年度基金への返金¥612（県士会）							
地域包括ケア対策委員会	556,000	588,000	45,882	542,118	需 用 費	66,000	27,868	38,132	食 糧 費	30,000	11,812	18,188	特別会計①に記載							
					茶菓子代	36,000	16,056	19,944												
					旅 費	20,000	17,780	2,220	旅 費	20,000	17,780	2,220								
					地域包括ケアシステム 研修	502,000	0	502,000	事 務 費	10,000	0	10,000		鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業						
									講 師 費	84,000	0	84,000								
									会 場 費	257,000	0	257,000								
									印刷製本費	70,000	0	70,000								
									会 議 費	40,000	0	40,000								
									役 務 費	29,000	0	29,000								
									需 用 費	12,000	0	12,000								
					返 金	0	234	-234	返 金	0	234	-234		R元年度基金への返金¥234（県士会）						
					認知症対策委員会	604,000	604,000	104,512	499,488	役 務 費	190,000	92,760		97,240	旅 費	190,000	92,760	97,240	特別会計①に記載	
										需 用 費	88,000	11,752		76,248	食 糧 費	49,000	9,469	39,531		
															茶菓子代	39,000	2,283	36,717		
チームケアリーダー育成 研修事業	326,000	0	326,000	事 務 費						4,900	0	4,900	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業							
				講 師 費						160,000	0	160,000								
				会 場 費						35,000	0	35,000								
				印刷製本費						15,000	0	15,000								
				会 議 費						5,000	0	5,000								
				役 務 費						71,000	0	71,000								
				需 用 費						35,100	0	35,100								
事業活動支出計（B）	5,223,000	5,436,000	2,530,971	2,905,029																
事業活動収支差額 （C）=（A）-（B）	638,915	425,915	422,029	3886																

令和1年度決算書(特別会計)

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

科 目	予算額	決算額	差額	
1. 事業活動収入				
鳥取県地域医療介護総合確保基金	2,350,000	2,350,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費 850,000 地域包括ケアシステム研修事業費 502,000 チームケアリーダー育成研修事業 998,000
研修会参加費	162,500	162,500	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 49,500 地域包括ケアシステム研修事業 31,000 チームケアリーダー育成研修事業 82,000
負担金	203,415	203,415	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 53,021 地域包括ケアシステム研修事業 45,882 チームケアリーダー育成研修事業 104,512
収入合計	2,715,915	2,715,915	0	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差額	小科目	金額	積算内訳
2. 事業活動支出						
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	952,521	952,521	0	報酬	44,000	【日当】¥44,000 (8/4¥14,000+12/8¥14,000+2/2¥16,000)
				報償費	244,000	【講師謝金】¥244,000 (8/4¥80,000+12/8¥72,000+2/2¥92,000)
				旅費	282,300	【講師旅費】¥85,500(宿泊費込み) (12/8¥59,640+2/2¥25,860) 【研修旅費】¥57,300 (8/4¥20,000+12/8¥16,800+2/2¥20,500) 【委員会旅費】¥35,700 ・3委員会¥2,000(4/3¥500+4/18¥1,000+6/18¥500) ・全県¥33,700(4/20¥6,000+6/8¥9,900+10/26¥8,400+1/25¥9,400) 【研修宿泊費】¥73,800 (12/8¥21,600+2/2¥52,200) 【出張旅費】¥25,000 (8/25¥25,000) 【出張日当】¥5,000 (8/25¥5,000)
				需用費	174,644	【研修会講師食糧費】¥7,700(8/4¥2,100+12/8¥3,500+2/2¥2,100) 【研修会スタッフ前日食糧費】¥5,500(2/2¥5,500) ※2/2¥5,500のうち¥100は県士会負担 【研修会講師茶菓子代】¥2,980(8/4¥991+12/8¥990+2/2¥999) 【消耗品費】¥2,695(12/7¥2,695) 【印刷製本費】¥103,360(8/4¥93,090+12/8¥7,220+2/2¥3,050) 【研修会スタッフ食糧費】¥9,890 (8/4¥2,800+12/8¥3,500+2/2¥3,690) 【研修会前日食糧費】¥5,000 (12/8¥4,900+2/2¥100)2/2※5,600のうち5,500は基金より負担 【3委員会食糧費】¥2,100(4/18¥1,400+6/18¥700) 【研修会スタッフ茶菓子代】¥984(12/8¥984) 【全県委員会茶菓子代】¥1,000(10/26¥1,000) 【お土産代】¥13,335(12/8¥11,000+2/2¥2,335) 【会議費】¥20,000(12/8¥15,000+2/2¥5,000)
				役務費	2,990	【通信運搬費】¥330(9/15¥246+1/16¥84) 【手数料】¥2,660 指導者研修センター料¥2,220(足立¥1,120+橋本¥900+竹谷¥200) ATM振り込み手数料(3/11 ¥440)
				使用および賃借料	71,350	【会場費】¥71,350 (8/4¥20,790+12/8¥41,760+2/2¥8,800)
返金	133,237					H30年度基金への返金¥612(県士会)
						R1年度基金への返金¥132,625(基金)

地域包括ケアシステム研修事業	578,882	578,882	0	報酬	48,000	<u>日当:48,000円(基金)</u> ・大研修会14,000円 ・東中部地区人材育成研修会22,000円 ・運転と作業療法研修会12,000円
				報償費	48,000	<u>講師謝金:48,000円(基金)</u> ・大研修会10,000円 ・東中部地区人材育成研修会18,000円 ・運転と作業療法研修会12,000円 ・西部圏域合同研修会8,000円
				旅費	229,875	<u>委員・スタッフ旅費:229,875円</u> ・大研修会5,192円(基金) ・東中部地区人材育成研修会17,634円(基金) ・運転と作業療法研修会11,980円(基金) ・東部地区委員会交通費7,500円(基金) ・中部地区委員会交通費1,500円(基金) ・西部地区委員会交通費20,000円(基金) ・3委員会交通費2,000円(基金) ・全県会議交通費7,700円(基金) ・全国推進会議旅費76,789円(基金) ・米子町作リシンポジウム交通費1,500円(基金) ・北栄町地域ケア会議見学派遣交通費5,200円(基金) ・西部圏域合同研修会交通費9,000円(基金) ・全県運転と作業療法委員会交通費28,700円(基金) ・東部地区運転と作業療法委員会交通費10,000円(基金) ・自動車学校協会定例会交通費7,400円(基金) ・全国推進会議旅費17,780円(県土会)
				需用費	46,399	<u>食糧費:31,746円</u> ・研修茶菓子代1,982円(基金) ・講師昼食代1,896円(基金) ・委員昼食代9,712円(県土会) ・委員夕食代2,100円(県土会) ・委員茶菓子代2,803円(県土会) ・茶菓子代13,253円(県土会) <u>消耗品費:5,143円(基金)</u> ・大研修会544円 ・東中部地区人材育成研修会440円 ・西部地区委員会4,159円 <u>印刷製本費:9,510円(基金)</u> ・大研修会2,110円 ・運転と作業療法研修会6,400円 ・米子町作リシンポジウム1,000円
				役務費	1,350	<u>通信運搬費:1,350円(基金)</u> ・書類郵送料1,350円
				使用および賃借料	13,258	<u>会場費:13,258円(基金)</u> ・大研修会2,040円 ・東中部地区人材育成研修会7,060円 ・運転と作業療法研修会4,158円
				返金	192,000	R1年度基金への返金191,766円(基金) R1年度基金への返金234円(県土会)
チームケアリーダー育成研修事業	1,184,512	1,184,512	0	報酬	54,000	<u>日当54,000円(基金)</u> ・第13回20,000円 ・第14回18,000円 ・第15回16,000円
				報償費	117,500	<u>講師謝金117,500円(基金)</u> ・第13回42,000円 ・第14回27,500円 ・第15回48,000円
				旅費	427,873	<u>講師旅費167,283円(基金)</u> ・第13回90,610円 ・第14回17,160円 ・第15回59,513円 <u>委員・スタッフ旅費106,250円(基金)</u> ・委員会交通費27,400円 ・研修会交通費44,950円 ・委員業務交通費33,900円 <u>研修派遣旅費154,340円</u> ・全国推進員会議61,580円(基金) ・全国推進員会議日当10,000円(県土会) ・若年認知症視察派遣旅費82,760円(県土会)
				需用費	172,929	<u>食糧費48,182円</u> ・講師・役員昼食代8,430円(基金) ・講師打ち合わせ会議費10,000円(基金) ・講師茶菓子代2,704円(基金) ・委員昼食代3,131円(基金) ・茶菓子代12,165円(基金) ・委員昼食代1,069円(県土会) ・委員夕食代8,400円(県土会) ・委員茶菓子2,283円(県土会) <u>消耗品35,507円(基金)</u> ・35,507円 <u>印刷製本費89,240円(基金)</u> ・89,240円
				役務費	22,445	<u>通信運搬費22,445円(基金)</u> ・22,445円
				使用および賃借料	14,240	<u>会場費14,240円(基金)</u> ・第13回5,000円 ・第14回4,240円 ・第15回5,000円
				返金	375,525	<u>令和元年度返金170,525円(基金)</u> <u>令和元年度返金済20,5000円(基金)</u>
事業活動支出計	2,715,915	2,715,915	0			
事業活動収支差額	0	0	0			

正味財産増減計算書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
Ⅰ 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入	研修会収入	376,000	428,500	-52,500
	学会収入	124,500	158,500	-34,000
	その他の収入	251,500	270,000	-18,500
		0	0	0
正会員収入		2,645,000	2,540,000	105,000
	正会員会費収入	2,645,000	2,540,000	105,000
	賛助会員会費収入	0	0	0
補助金収入		2,715,915	3,629,685	-913,770
	補助金収入	2,715,915	3,629,685	-913,770
雑収入		20	21	-1
	雑収入	20	21	-1
経常収益計(A)		5,736,935	6,598,206	-861,271

単位: (円)

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
(2) 経常費用				
①管理運営部門		882,583	753,341	129,242
	事務局支出	566,001	431,347	134,654
	財務部支出	227,754	270,933	-43,179
	規約委員会支出	0	0	0
	倫理委員会支出	0	0	0
	総会議事運営委員会支出	70,628	37,561	33,067
	選挙管理委員会支出	18,200	13,500	4,700
②事業費支出		4,364,303	5,359,996	-995,693
	渉外部支出	4,766	62,244	-57,478
	広報部支出	419,716	423,119	-3,403
	事業部支出	291,586	516,354	-224,768
	学術部支出	498,676	430,487	68,189
	教育部支出	103,724	94,916	8,808
	領域対策部支出	126,505	127,592	-1,087
	生活行為向上マネジメント委員会支出	53,021	23,620	29,401
	地域包括ケア対策委員会支出	45,882	26,973	18,909
	認知症対策委員会支出	104,512	65,006	39,506
	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	952,521	902,120	50,401
	地域包括ケアシステム研修事業	578,882	656,973	-78,091
	チームケアリーダー育成研修事業	1,184,512	1,129,006	55,506
	第15回県学会(人権啓発事業)	0	901,586	-901,586
経常費用計(B)		5,246,886	6,113,337	-866,451
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		490,049	484,869	5,180
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益		(0)	(0)	(0)
経常外収益計(D)		0	0	0
(2) 経常外費用		(0)	(0)	(0)
経常外費用計(E)		0	0	0
当期外経常増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		490,049	484,869	5,180
一般正味財産期首残高(H)		3,218,911	2,734,042	484,869
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		3,708,960	3,218,911	490,049
Ⅱ 正味財産期末残高		3,708,960	3,218,911	490,049

監査報告書

令和2年4月12日

一般社団法人 鳥取県作業療法士会
会長 段 敬 史 様

一般社団法人 鳥取県作業療法士会

監事 江原 貴子

監事 横野 洋子



私たち監事は、令和元年度における鳥取県作業療法士会の事業を監査したので、その結果について次のとおり報告いたします。

I. 監査方法の概要

令和元年度に開催された理事会に出席し、事業の報告を聴取しました。また、令和元年度事業報告書、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計画書）の附属明細書、収支計算書を閲覧するとともに、執行状況を聴取するなど、必要な監査手続きを実施しました。

II. 監査の結果

1. 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 業務の執行においても法令及び定款に従い、正しく遂行しているものと認めます。

2. 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

III. 監事の意見

令和元年度は、理事をはじめ部員・委員・会員の皆様が企画・運営に携わり適正に事業が遂行できました。

令和2年度においても会員の皆様には、会費納入をはじめ、法人からの依頼や要請事項につきましては速やかに対応いただき、法人の事業が迅速かつ円滑に遂行できますことを望みます。

令和２年度 事業計画

◎ 事務局

1. 会議の開催
 - (1) 定時社員総会
令和２年度定時社員総会：令和２年６月２０日（土）
 - (2) 理事会
年６回開催予定
 - (3) 事務局会議
 - (4) 三役会議
2. 会員管理
 - (1) 会員の入退会管理（担当責任：中部事務局）
 - (2) 会員情報確認（年１回）
3. 文書管理
 - (1) 内外文書の受取・保管
 - (2) 会員への情報配信
4. 作業療法士に関する全国組織との連携
 - (1) 日本作業療法士協会
 - ① 日本作業療法士協会 2020 年度定時社員総会：令和２年５月３０日（土）
 - ② 47 都道府県委員会（年３回）
 - ③ 日本作業療法士会からのアンケート回答
5. その他法人の管理運営に関すること

◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること
 - (1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整
 - ① 令和元年度介護専門職研修事業 研修企画会議
 - ② 令和元年度介護専門研修 講師調整
 - (2) 特別支援教育への協力
 - ① 会員、学校との連絡調整、実施集計など
 - ② 県、市町村教育委員会との連携
 - ③ 日本作業療法士協会との連携
 - (3) YMCA 米子医療福祉専門学校との入学、卒業式参加
 - (4) 若草学園協力
 - (5) 学童保育鳥取県連絡協議会との連携協力
 - (6) 鳥取県障がい者スポーツ協会との連携
 - (7) 日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部 療育キャンプ協力
 - (8) その他、関係機関との協力・連携・調整、及び依頼事業への対応
2. 作業療法士の職域拡大に関すること
 - (1) 外部協力調査

◎ 広報部

1. 県士会ニュース発行
年４回（107 号～110 号）
2. 広報資料の整備
 - (1) パンフレット（日本作業療法協会より取り寄せ）
 - (2) その他

3. 学校への啓発・広報活動

(1) 資料配布

① 高校への配布（施設見学案内も含む）

② 教育委員会・小・中・高校、特別支援学校、義務教育学校への配布（特別支援教育関係）

(2) 高校生施設見学（東・中・西部の各地区の承諾施設で実施）7月～8月

4. 一般への啓発・広報活動

(1) 作業療法推進啓発キャンペーン活動

開催地：中部予定

(2) その他、啓発・広報活動

5. 作業療法推進月間（8月）

ポスターの配布（配布先：OT 在籍施設、市町村役場、OT 不在の病院・老健施設）

6. ホームページ管理・更新

7. 日本作業療法士協会との連携（Web 会議への参加）

8. データ管理委員会

(1) 郵送に関するデータを管理・更新（各部・委員会との連携）

(2) 円滑な郵送方法情報の提供

9. その他

◎ 事業部

1. 訪問地域リーダー会議

(1) 期日：令和2年5月16日（土）、17日（日）

(2) 会場：天満研修センター、大阪 YMCA

(3) 出席者：未定

2. 臨床実習指導者講習会

(1) 期日：未定

(2) 会場：未定

(3) 内容：未定

3. 中国地区作業療法士会合同研修会

(1) 期日：未定

(2) 会場：未定（岡山県）

(3) 内容：未定

4. 訪問リハビリテーション実務者研修会

(1) 期日：未定

(2) 会場：未定

(3) 内容：未定

5. 県士会員親睦会（福利厚生）

◎ 学術部

1. テーマ別勉強会

現在以下の勉強会が存在しているが、会員に対する登録者が少ないなど問題があるため、登録方法の見直しや、運営方法の見直しを早急に行う

(1) 東部地区 1 テーマ 東部地区全般勉強会

(2) 東・中部地区 1 テーマ 特別支援教育（東部・中部）

(3) 中部地区 2 テーマ 中部精神科勉強会、中部地区合同勉強会

(4) 西部地区 6 テーマ 西部精神科勉強会、西部福祉用具・住環境勉強会、CVA 勉強会、作業を考える会、治療演習・ADL 分析勉強会、特別支援教育（西部）

2. 第17回鳥取県作業療法学会

西部地区にて開催予定。内容は以下の通り

- (1)会期：令和2年11月15日（日）
- (2)会場：米子市福祉保健総合センターふれあいの里
〒683-0811 鳥取県米子市錦町 1-139-3
- (3)内容：
- ①学会テーマ：「社会との繋がりをつくるため、作業療法士にできること（仮）」
 - ②特別講演：西方 浩一氏（文京学院大学 保健医療技術学部 准教授 作業療法士）
 - ③一般演題：口述発表、ポスター発表
- (4)実行委員：
- | | |
|--------|--|
| 学会長 | 北山 朋宏（錦海リハビリテーション病院） |
| 実行委員長 | 原 美苗（なんぶ幸朋苑） |
| 副実行委員長 | 乾 かおり（仁風荘） |
| 広報・接待 | 田村 理恵（鳥取大学医学部附属病院）、山本 香織（特養あいご） |
| 会計 | 小山 雅之（SOI STANCE）、菊本 理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校） |
| 演題・査読 | 廣江 睦美（大山リハビリテーション病院）、池淵 歓斗（米子病院） |
| 学会誌 | 村瀬 良知（済生会境港総合病院） |
| 会場 | 山本 未来（錦海リハビリテーション病院） |
| 相談役 | 段 敬史（サンライズ名和）、田住 秀之（YMCA 米子医療福祉専門学校） |
| 学術部長 | 高梨 悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校） |

3. 査読委員会

- (1)査読委員：池淵 歓斗（米子病院）、松本 周三（三朝温泉病院）、
宮脇 淳（米子東病院）、平野 正樹（錦海リハビリテーション病院）、
高梨 悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(2)内容

- ①査読委員会の開催（年4回）
- ②査読者登録制度の作成（査読者の基準作成）
- ③査読者の登録および管理
- ④査読者の選定と査読依頼
- ⑤査読結果の集約
- （＊採択・不採択の最終判断は、学会長と査読委員長との協議で行う）
- ⑥県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

- (1)ホームページ「生涯教育制度について」更新
- (2)生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新
- (3)基礎研修ポイント管理・発行
 - ①協会ポイントシール返却
 - ②士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
 - ③現職者共通研修修了ポイント発行
 - ④現職者選択研修会ポイント発行
 - ⑤鳥取県作業療法学会ポイント発行
 - ⑥基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

2. 生涯教育制度に関する開催

現職者共通研修会

期日と会場（予定）	区分	テ ー マ	講 師（予定）
①前期 7月26日（日） 会場：東中部 鳥取医療センター	Ⅰ	作業療法生涯教育概論	北山 朋宏：錦海リハ病院
		職業倫理	長田 貴徳：尾崎病院
	Ⅲ	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす
		作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA 米子

②後期 10月11日（日） 会場：西部 YMCA 米子	Ⅱ	①6. 作業療法の可能性	宮城 直子：尾崎病院
		②8. 事例報告と事例研究	梅津 清司郎：YMCA 米子
	Ⅳ	②7. 日本と世界の作業療法の動向	藤田 恵子：セラトピア
		②5. 実践のための作業療法研究	高梨 悠一：YMCA 米子

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- (1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）
- (2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
- (3) SIG 等登録認定（SIG として認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1) 生涯教育制度推進担当者会議会への出席
- (2) 生涯教育受講登録システムへの登録

5. 会員への情報伝達

- (1) 県士会ニュースへの掲載
- (2) ホームページへの掲載
- (3) その他

6. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2) 事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3) 領域対策部：現職者選択研修会など
- (4) 事務局：会員管理事務など
- (5) 特設委員会：士会主催研修会など

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

1. 令和2年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業

2. 生活行為向上マネジメント委員会の開催

全県委員会（年4回）

業務内容

- ①生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営
生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
- ②生活行為向上マネジメント広報活動
- ③生活行為向上マネジメント指導者養成

◎ 領域別対策部

1. 現職者選択研修（身体障害領域）

- (1) 期日：令和2年10月18日（日）
- (2) 会場：西部地区（予定）
- (3) 内容：

テーマ1：身体障害領域の基礎知識	酒井 ひとみ：関西福祉科学大学
テーマ2：急性期の作業療法	高梨 悠一：YMCA 米子医療福祉専門学校
テーマ3：回復期の作業療法	仲田 奈生：島根リハビリテーション学院
テーマ4：生活期・終末期の作業療法	酒井 ひとみ：関西福祉科学大学

◎ 財務部

1. 会費徴収について

- (1) 会費徴収
- (2) 未納者への督促

2. ボランティア保険加入手続き

県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う

3. 予算事務に関する特記事項

(1) 事業部

- ① 厚労省指定臨床実習指導者講習会（都道府県講習会）運営費として 243,000 円計上する
- ② 県士会親睦会（福利厚生）運営費として 40,000 円計上する

◎ 規約委員会

- 1. 規約委員会の開催（年 2 回以上開催予定）
- 2. 施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業及び問い合わせ
- 3. 各専門部との連携

◎ 倫理委員会

- 1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
- 2. 相談への対応
- 3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

◎ 総会議事運営委員会

- 1. 定時社員総会の議案書・議事録作成
- 2. 定時社員総会開催
 - (1) 期日：令和 2 年 6 月 20 日（土）10：00～11：00
 - (2) 会場：YMCA 米子医療福祉専門学校
 - (3) 内容：令和元年度事業報告書承認
令和元年度決算報告書承認及び監査報告
令和 2 年度事業計画及び予算

◎ 選挙管理委員会

- (1) マニュアル見直し
- (2) 委員会開催：委員改選、引継ぎ、令和 3 年度鳥取県作業療法士会役員候補者選挙に向けて

◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

- 1. 研修会開催
 - (1) 人材育成研修会（2 回）
 - ① 開催日：未定（東中部地区、西部地区で各 1 回）
 - ② 会 場：未定
 - ③ テーマ：未定
 - (2) 地域包括ケアシステム大研修会（1 回）
 - ① 開催日：未定
 - ② 会 場：未定
 - ③ テーマ：未定（災害対策研修を含む）
 - (3) 自動車運転研修会
 - ① 開催日：未定
 - ② 会 場：未定
 - ③ テーマ：未定
- 2. 災害時対応マニュアルの作成協議
 - (1) 県士会員に向けて災害対策の研修実施
 - (2) 災害対策へ対応できる会員の養成
 - ① 日本作業療法士協会主催の災害対策研修参加派遣
 - ② JIMTEF 災害医療研修ベーシックコース
 - (3) JRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）各団体と協力し、鳥取 JRAT の組織化
- 3. 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進

地域活動に対する外部からの依頼に対応可能な協力施設・委員のリスト化
(渉外部と協力)

4. 担当者会議

(1) 地区別会議 東部：6回 中部：3回 西部：6回

自動車運転研修会企画会議：5回

(2)

① 委員メンバーの選出

全体責任者：永見 忠志（皆生温泉病院）

東部委員：原田 伸吾（デイサービスつむぎ）、長田 貴徳（尾崎病院）、
下石 勝哉（デイサービスつむぎ）、村山 大佑（鳥取医療センター）、
大淵 賢一（鳥取赤十字病院）、村上 聡（まさたみの郷）、
川下 洋範（いなば幸朋苑）、佐野 和代、木下 真実（鳥取生協病院）

中部委員：西村 純一（清水病院）、三浦 純（三朝温泉病院）、
幸田 真（藤井政雄記念病院）、藤田 恵子（老健セラトピア）

西部委員：小椋 善文（米子市役所）、横野 洋子（仁風荘）、
山本 香織（おしどり荘）、加藤 淳美（サンライズ名和）、
三上 将史（山陰労災病院）、田中 卓（養和病院）、
村瀬 良知（済生会境港総合病院）

災害対策：藤田 恵子（セラトピア）

自動車運転研修会企画・実施メンバー

：坂本 一郎（さとに田園クリニック）、岩崎 大輔（養和病院）、
中村 貴紀（三朝温泉病院）、板尻 信幸（鳥取県立中央病院）、
影井 奈央（野島病院）、増崎 堅斗（三朝温泉病院）、
幸田 真（藤井政雄記念病院）

② 各地域の現状確認・情報共有・課題抽出と対応の検討、実施

③ 研修会企画・運営

5. パンフレット管理

県・各地域包括支援センター・県士会員・その他各関係機関など状況に合わせ配布する

◎ 認知症対策委員会

1. 令和2年度鳥取県地域医療介護総合確保基金「チームケアリーダー育成研修事業」申請作業

2. 委員会開催（年3回）

(1) 研修会企画・運営・受講登録

(2) 認知症関連に携わる会員関与状況の把握

(3) 認知症に関連する県内事業協力・啓蒙

(4) 日本作業療法士協会との連携（アップデート研修、認知症に関わる情報交換）

3. 研修会

(1) 認知症研修会3回（全体研修1回、西部地区研修1回、東中部地区研修1回）

(2) OT協会認知症アップデート研修1回

(3) 研修会期日：未定

(4) 研修会会場：未定

4. 事業協力・派遣

(1) 認知症施策に基づく各種事業への協力・派遣

(2) 認知症の人と家族の会、認知症初期集中支援チーム員会議、認知症施策検討委員会への派遣協力

(3) 研修・視察派遣

令和2年度予算書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年3月31日

勘定科目			備考
大科目	予算額	小科目 金額	
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,600,000	年会費 2,600,000	5,000円×520名
研修会収入	725,000	第17回県学会 310,000	2,000円×150名、500円×20名
		現職者共通研修 80,000	1,000円×80名
		現職者選択研修 120,000	2,000円×40名、4,000円×10名
		MTDLP研修会 25,000	500円×50名
		地域包括ケア 55,000	500円×110名
		認知症 75,000	500円×150名
		臨床実習指導者講習会 60,000	1,000円×60名
補助金等の収入	0	助成金 0	
		賛助費 0	
雑収入	1,000	雑収入 1,000	預金利息
事業活動収入合計(A)	3,326,000		

勘定科目		予算額	小科目	備考
中	科 目			
II	投資活動収支の部			
1.	投資活動収入			
	啓発グッズ等積立預金取崩収入	0		
	投資活動収入計(D)	0		
2.	投資活動支出			
	啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000		郵便振替預金内にて管理
	投資活動支出計(E)	50,000		
	投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000		
III	予備費支出(G)	200,000		
	当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 2,084,000		
	前期繰越収支差額(I)	3,253,960		
	次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	1,169,960		

(単位:円)

2. 事業活動支出

(1)管理運営部門

	予算額	中項目	金額	小 項 目	金額	備 考
事務局	780,000	事 務 費	157,500	事務用品費	41,500	ファイル、コピー用紙、名刺
				通 信 費	66,000	発送、切手代、振り込み手数料等12,000円、法人携帯使用料54,000円
				封筒作成費	50,000	角2封筒1,000枚 長3封筒 1,000枚
		会 場 費	10,200	会 場 費	10,200	理事会6回 施設利用費(1,700円×6回)
		役 務 費	510,300	旅 費	510,300	OT総会受付手伝い 6,400円(東部1,200円×2名、中部500円×2名、西部1,500円×2名)
						理事会交通費137,400円(東部500円加算1,700円×2名、中部500円×5名、西部1,500円×10名、西部500円加算2,000円×1名/理事18名)×6回
						代議員令和2年度定時社員総会 15,000円(日当5,000円×1日×3名)
						47都道府県委員会300,000円
						会長30,000円(日当10,000円×3回)
						オブザーバー270,000円(日当10,000円、旅費70,000円、宿泊10,000円×3回)
						事務業務交通費(納税等)3,000円(500円×6回)
						3役会議交通費12,500円(500円×5名×5回)
						代表理事活動費36,000円(交通費 3,000円×5回、宿泊費7,000円×3回)
		需用費	6,000	茶菓子代	6,000	1,000円×6回
		税 金	81,000	法人県民税	21,000	法人県民税・年間(鳥取県)
				法人市民税	60,000	法人市民税・年間(米子市)
		負担金	0	負担金	0	
財務部	243,000	事 務 費	22,200	事務用品費	5,200	事務用品
				通 信 費	12,000	wifi通信料10,800円(900円×12か月)
				利 用 料	5,000	会計ソフト年間利用料
		役 務 費	29,500	旅 費	29,500	監査3,500円(1,500×1名、500円×4名)総会会費受付6,000円(1,500円×4名)県学会受付3,000円(1,500円×2名)財務部業務10,000円(500円×2名×10回)税理士相談時4,000円(2,000円×2回)納税3,000円(500円×6回)
		需用費	6,500	食 糧 費	3,500	700円×5名
				茶菓子代	3,000	監査、委員会開催
		相 談 費	64,800	相 談 料	64,800	税理士相談料
		保 険 費	120,000	保 険 費	120,000	800円×149名(理事15名、監事2名、事務局10名、倫理委員会1名、総会議事運営委員会5名、渉外部5名、広報部6名、事業部5名、学術部30名、教育部16名、領域対策部10名、財務部4名、生活行為向上6名、地域包括20名、認知症14名)、手数料324円(108円×3回)
規約委員会	16,000	事 務 費	1,000	事務用品費	1,000	資料ファイル4冊
		役 務 費	10,000	旅 費	10,000	委員会交通費(1,500円×4名、500円×8名)
		需用費	5,000	食 糧 費	5,000	700円×6名
倫理委員会	2,000	事 務 費	2,000	事務用品費	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
総会議事運営委員会	68,000			通 信 費	1,000	切手、送料、電話料金
		事 務 費	3,000	事務用品費	2,000	ファイル、その他事務用品
				通 信 費	1,000	
		会 場 費	15,000	会 場 費	15,000	総会会場費(会場代、備品使用代)
		役 務 費	47,000	旅 費	17,900	委員会17,100円(500円×3名、1,500円×2名、1,200円×1名)×3回分
					29,100	総会29,100円(2,000×1、1,700×1名、1,500円×12名、1,200円×2名、500円×10名)
選挙管理委員会	46,000	需 要 費	3,000	茶菓子代	3,000	1000円×3回分
		事 務 費	20,000	事務用品費	20,000	ファイル・付箋印刷用紙等
				通 信 費		※選挙開催時:別途計上(ゆうメール使用 37,800円)
				委 託 費		※選挙開催時:別途計上(9,180円)
		会 場 費	0	会 場 費		
		印 刷 費	0	印 刷 費		※選挙開催時:別途計上(70,000円予定)
		役 務 費	21,000	旅 費	21,000	定期委員会開催(1,500×1 500円×4名 6回) ※選挙開催時臨時招集時:別途計上
		需 要 費	5,000	食 糧 費		※選挙開催時:別途計上(選挙管理委員5名+立会人2名 700円×7名 4,900円予定)
				茶菓子代	5,000	

教育部	543,000	事 務 費	8,000	事務用品費	3,000	事務用ファイル
				通信運搬費	5,000	振込み料、切手
		講 師 費	97,000	報 償 費	78,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名)
				旅 費	19,000	事例報告指導30,000円(6,000円×5名)
						現職者共通研修 16,500円(前期西東部9,500円(3,000円×3名、500円×1名)、後期西部7,000円(3,000円×1名、2,000円×1名、1,500円×1名、500円×1名))
		会 場 費	20,000	会 場 費	20,000	事例報告 2,500円(500円×5名)
		役 務 費	5,000	旅 費	5,000	現職者共通研修 前期(西部)10,000円、後期(東部)10,000円
		生活行為向上マネジメント事業	413,000	事 務 費	6,000	現職者共通研修 前期西部2,000円(500円×4名)、後期東部2,000円(500円×4名)、現職選択研1,000円(500円×2名)
				旅 費	32,400	ファイル、封筒等、郵送代
				会 議 費	10,000	全県委員会(1,500円×4名、500円×2名、1,200円×2名)×3回開催28,200円 3委員会(700円×2名)×3回開催4,200円
				需 用 費	50,600	講師研修会打ち合わせ費(5,000円×2回)
				生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業	314,000	研修会昼食(700円×8名)×3回開催16,800円 委員夕食(700円×24名)16,800円 研修会茶菓子 (1,000×3回)委員会茶菓子(1,000×4回)、講師茶菓子(5,000円×2回)
領域対策部	224,000	事 務 費	2,000	事務用品費	1,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
				通 信 費	1,000	事務費:5,000円 講師費:140,000円 会場費:24,000円 印刷製本費:30,000円 会議費:5,000円 役務費:90,000円 需用費:20,000円
		現職者選択研修	222,000	講 師 費	115,000	報償費48,000 (県外講師)36,000円(県内講師)12,000円(6,000円×2名)
				会 場 費	20,000	旅費67,000円 (県外講師)宿泊費10,000円、交通費50,000円(県内講師)交通費7,000円(3,500円×2名)
				印刷製本費	20,000	会場費
				会 議 費	5,000	コピー用紙代、印刷トナー代
				事 務 費	1,000	講師打合せ会場費
				役 務 費	24,500	500円×7名×7回
				需 用 費	31,500	弁当代:講師昼食 3,000円(1,000円×3名)
						弁当代:委員昼食 4,900円(700円×7名)
						弁当代:講師夕食 3,000円(1,000円×3名)
地域包括ケア対策委員会	563,000	需用費	61,000	役 務 費	24,500	弁当代:委員夕食 4,900円(700円×7名)
				予 備 費	5,000	講師茶菓子・飲み物 7,000円 委員茶菓子代 1,000円×7回
		地域包括ケアシステム研修	502,000	食 糧 費	35,000	委員昼食代15,000円(指導者育成研修会7,000円、大研修会80,000円)、講師夕食代5,000円、委員夕食費15,000円
				茶 菓 子 代	26,000	委員茶菓子代26,000円(委員会22,000円 3地区・自動車運転転研修会合計22回×1,000円、研修会4回スタッフ茶菓子代4,000円)
				事 務 費	10,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
				講 師 費	84,000	
				旅 費	257,000	
				会 場 費	70,000	
				印刷製本費	40,000	
		チームケアリーダー育成研修事業	326,000	役 務 費	29,000	研修派遣旅費(若年・初期集中・家族支援など)100,000円(交通費60,000円、宿泊費10,000円、参加費等20,000円、日当5,000円×2日)×1名 OT協会認知症推進員会議派遣旅費70,000円(交通費50,000円、宿泊費10,000円、日当5,000円×2日)1名 OT協会認知症推進員会議派遣旅費10,000円(日当5,000円×2日)×1名
				需 用 費	12,000	
認知症対策委員会	617,000	役 務 費	180,000	旅 費	180,000	
				食 糧 費	50,000	委員昼食25,000円(研修会3回分)、委員夕食25,000円(研修会3回分)
		需 用 費	96,000	茶 菓 子 代	46,000	委員・講師茶菓子代16,000円(講師1,000円×3回、委員1,000円×13回)、研修茶菓子30,000円
				会 議 費	15,000	講師打ち合わせ会議費5,000円×3回
		チームケアリーダー育成研修事業	326,000	事 務 費	4,900	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
				講 師 費	160,000	
				会 場 費	15,000	
				印刷製本費	35,000	
				会 議 費	5,000	
				役 務 費	71,000	
				需 用 費	35,100	
事業活動支出計 (B)	5,160,000					
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 1,834,000					

